

片づけがしっかりできる子に

てと
いいこと
悪いこと

- 家の中を見直し、共有スペースを「きれい」に保つ片づけを
- × 家の中がいつも散らかっている

○ やっていいこと 家の中を見直し、共有スペースを「きれい」に保つ片づけを

子育てと片づけは、親にとっては永遠不滅の悩みかもしれません。片づけがしっかりできる子に育てるために、まず親がすべきことは、家の中を見回して余分なモノを処分し、すっきりさせることです。

子どもは成長が早く、ついこの間まで着ていた服や、繰り返し遊んでいたおもちゃ

が不要になってしまうことは多いものです。「もう着ない」「もう使わない」状態になった衣服やおもちゃは、処分するなり人にゆずるなりして、家の中をすっきりさせましょう。

次にすべきことは、リビングなど、家族全員の共用スペースがどこかということを確認し、そのスペースはいつもすっきりさせておくこと、そのスペースで家族全員が快適に過ごすために「この場所は必ず片づけようね」「いつもきれいにしようね」と、子どもに繰り返し意識づけを行なっていくことです。

皆で使うリビングに、たとえば子どもや家族の下着やランドセル、カバンなどが置きっぱなしになっていたら、誰だっけ気分はよくないものですし、食事のあとすぐに、ダイニングテーブルの食器を片づけないと、次にダイニングテーブルが使えないですよ。このような具体的な理由づけをしっかりと行ない、折にふれて子どもと一緒に片づけるようにして、子どもに「片づけるというのはこういうことか」という意識を植えつけていけばよいのです。